



令和8年3月2日

～県内の高校生のふるさとに対する誇りや「ながさき愛」の醸成～

「高校生が見た長崎くんち」展を開催

高校生の力作をご覧ください！

【期間】 令和8年3月3日(火)～3月10日(火)

【場所】 県庁行政棟1階エントランスホール

昨年10月に開催された「長崎くんち」。県は、伝統文化の取材を通して、ふるさと長崎に対する誇りや「ながさき愛」の醸成といった総合的なこどもの育成に寄与するため、県内の高校の写真部と放送部に所属する皆さまにお旅所の栈敷席で取材していただきました。

今回、今後の長崎県を担う高校生の目から見た「長崎くんち」の取材成果である写真と映像を県庁舎内に展示します。県民の皆さまにぜひご覧いただき、長崎の伝統文化を感じていただきたいと考えております。長崎くんちの雰囲気伝わってくる高校生の皆さまの力作をぜひご覧ください！



展示作品の例

展示参加校

- ・ 県立長崎西高等学校 写真部
- ・ 県立長崎北高等学校 写真部
- ・ 県立長崎工業高等学校 放送部
- ・ 私立海星高等学校 放送部

展示作品数

- ・ 写真14点、映像2点

展示期間

令和8年3月3日(火)9時 ～ 令和7年3月10日(火)17時
(平日) 7時から21時 (休日) 9時から21時

展示場所 ※写真は参考です。展示・表示されているものは本展示とは別のものとなります

- 県庁行政棟1階エントランスホール



参加した高校生の声（一部）

●今回、私は長崎くんちを初めて近くで見ることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。迫力のある川船や龍踊りに心を奪われ、写真を撮ることを忘れてしまうぐらいでした。くんちを盛り上げる演者さんと、それを見る客が一体となって盛り上げているのが伝わってきました。だからこそ長崎くんちは伝統になり、ずっと続いているのだと感じました。この伝統は次の世代にも伝えていきたいし、日本だけでなく海外においてもこの長崎くんちの魅力を写真や動画を通して伝えたいと思いました。

(県立長崎北高等学校 写真部 2年 永田蒼空)

※上記以外にも参加した高校生からの声が届いておりますので別添をご覧ください